

IPC Swimming 公認 2016 ジャパンパラ水泳競技大会 開催要項

- 1 目的 障がい者の水泳競技の競技力向上を図るため、国際規則に則った高いレベルの競技会を開催し、国内の水泳競技への志向意欲をより高めるとともに、広く社会参加の促進に資することを目的とする。
- 2 大会名 2016 ジャパンパラ水泳競技大会
- 3 主催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- 4 共催 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟（以下「JPSF」という。）
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟（以下「JSFP」という。）
一般社団法人日本ろう者水泳協会（以下「JDSA」という。）
- 5 主管 一般社団法人神奈川県水泳連盟
- 6 後援
スポーツ庁 神奈川県 横浜市 神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会
公益財団法人日本体育協会 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本水泳連盟
日本障がい者水泳協会 一般社団法人日本マスターズ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟
全国聾学校体育連盟 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会
社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
- 6 JPSA オフィシャルパートナー
日本航空株式会社 JA共済連 田中貴金属グループ 東京ガス株式会社 中外製薬株式会社
三菱商事株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三菱電機株式会社
サントリーホールディングス株式会社 大同生命保険株式会社 凸版印刷株式会社
株式会社モリサワ トヨタ自動車株式会社 株式会社ゴールドウイン 東日本旅客鉄道株式会社
東京建物株式会社 株式会社大京 エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社
清水建設株式会社 味の素株式会社 野村ホールディングス株式会社
株式会社大和証券グループ本社 東京ガス協力企業会 全日本空輸株式会社
東京海上日動火災保険株式会社 日本郵船株式会社
- 7 JPSA オフィシャルサポーター
トラスコ中山株式会社 西濃シエンカー株式会社 カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社
株式会社富士住建 株式会社グロリアツアーズ 株式会社 JTB コーポレートセールス
大塚製薬株式会社 株式会社福祉施設共済会 株式会社ティーガイア 株式会社コメ兵
住友金属鉱山株式会社 株式会社エアウィーヴ
- 9 協力
神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会
- 10 期間 平成 28 年 7 月 17 日(日)～18 日(月祝) (16 日(土)クラス分け・練習)
- 11 会場 横浜国際プール (横浜市都筑区北山田 7-3-1 TEL:045-592-0453)
- 12 実施種目 別紙「実施種目及び標準記録一覧表」による。

13 参加資格・制限

JPSF 登録者については、次の(1)～(3)の条件を満たす者、または(4)、(5)に該当する者。JSFP 登録者については、(1)及び(6)の条件を満たす者、または(5)に該当する者。JDSA 登録者については(1)及び(7)の条件を満たす者、または(5)に該当する者。聴覚障がい者で JPSF と JDSA のどちらにも登録している者は、どちらかの団体を選択すること。

- (1) 身体障害者手帳または療育手帳を所持している者で、2016 年度 JPSF または、JSFP または、JDSA に選手登録をしている者
 - (2) JPSF 登録者については、次の競技会のいずれかにおいて 1 種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者。
 - ・平成 27 年度 第 15 回全国障害者スポーツ大会(和歌山大会) 第 32 回日本身体障がい者水泳選手権大会
2015 年 9 月 7 日以降に開催された IPC 公認大会
 - ・平成 28 年度 第 30 回関東身体障害者水泳選手権大会 第 27 回近畿身体障害者水泳選手権大会
第 26 回東北障害者選手権水泳競技大会 第 22 回中国四国身体障害者水泳選手権大会
第 27 回九州身体障害者水泳選手権大会 IPC 公認大会
 - (3) JPSF 登録者のうち、聴覚障がい者を除いては、IPC の規則に基づくクラス分けが済まされていること。(国際大会に出場した選手、FCS クラス分けを受けた選手以外はクラス分けが済まされていないものとして扱う。)
 - (4) JPSF 登録者について、大会当日 19 歳以下の選手で別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達していない者については、50m自由形(予選)のみオープン種目として参加できる。ただし、その出場資格は第 32 回日本身体障がい者水泳選手権大会の標準記録を達成したものとする。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
 - (5) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会から推薦を受けた者。
 - (6) JSFP 登録者については、次のいずれかの競技会において 1 種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者は 2 種目まで参加できる。なお、平成 28 年度 INAS・IPC 選手登録者は、4 種目まで参加できる。
 - ・平成 27 年度 2015 IPC 世界水泳選手権大会 エクアドル 2015 INAS グローバル大会
第 32 回日本身体障がい者水泳選手権大会 第 15 回全国障害者スポーツ大会(和歌山大会)
第 5 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会 第 18 回日本知的障害者選手権(25m)水泳競技大会
2016 INAS アジア水泳選手権大会 平成 27 年度春季静岡水泳記録会
 - ・平成 28 年度 リオパラリンピックテストイベント 第 27 回九州身体障害者水泳選手権大会
第 19 回日本知的障害者選手権水泳競技大会
 - (7) JDSA 登録者については、次のいずれかの競技会もしくは(2)の競技会において 1 種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者
 - ・平成 27 年度 第 10 回日本ろう者水泳選手権大会 平成 27 年度春季静岡水泳記録会
第 4 回世界ろう者水泳選手権大会 第 8 回アジア太平洋ろう者競技
 - ・平成 28 年度 日本マスターズ水泳短水路(25m)大会(6 月 15 日以前の大会)
第 19 回日本知的障害者水泳選手権(50m)水泳競技大会
- ※ JDSA 登録者について 50m バタフライ、50m 背泳ぎ、50m 平泳ぎは予選のみオープン種目として参加できる。出場者は他の種目で標準記録を突破している者に限る。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
- (8) 1 人 4 種目以内とする。(知的水連登録者は(6)を参照すること)
なお、傷病または不測の事態等の正当な理由なく棄権することは認められないので注意すること

14 競技方法

午前の部(予選)はマルチ方式(エントリータイム順)で競技を行い、同種目同クラス 8 位以内の選手で各種目の参加標準記録を突破した選手のみ、クラス別レース(決勝)に出場できる。

- 15 競技規則 S1～S14 は IPC 水泳競技規則による。
その他の障害はFINAに準拠した日本水泳連盟競泳競技規則による。

16 申込方法 別添「申込書」、「誓約書」に必要事項を記載のうえ、参加料を添えて下記に申し込むこと。

(1) 申込み締切り期日 平成 28 年 6 月 20 日(月)消印有効

(2) 申込み先 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6 ユニゾ水天宮ビル 3F

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 2016JP水泳大会事務局

※ 申込書は必ず郵送すること。

※ 参加料は必ず申込時に納入すること。また、一旦納入された参加料は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、参加資格に満たない場合も含め、原則として返金しない。

※ 「申込書」「誓約書」など必要書類が提出されていない場合や必要事項に記載がない場合、また、出場資格・制限などに該当しない場合は、申込みを受け付けない。

※ 出場の可否については、6月25日頃に書面により通知する。7月2日頃までに通知が届かない場合は事務局まで連絡すること。

17 参加料 一人 3,000 円とする。(現金書留・郵便小為替・銀行振り込みにて、申込み時に納入すること)

※ 銀行振込については、振込者名を選手本人名とし、多数の選手分を振込む場合等は、その旨を申込書に記載すること。

振込先口座:	みずほ銀行 小舟町支店(店番号 105) 普通口座 1285022
口座名義:	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会ジャパパラ
フリガナ:	ザイ)ニホンショウウガイシヤスポーツキョウカিজヤパラグチ

18 クラス分け

(1) ステータス「L」の肢体不自由の選手と視覚障がいの選手はクラス分けを受けなければならない。ステータス「JR」で見直し年が 2016 年までの肢体不自由の選手はクラス分けを受けなければならない。その他、JPSF より連絡のある選手はクラス分けを受けなければならない。尚、時間調整は困難なので、クラス分け受検者は、必ず 16 日の以下の時間を確保しておくこと。※時間の変更は原則認めない。

クラス分けの詳細については別途 JPSF より連絡する。

① 肢体不自由 7月16日(土)11時～18時(予定)

② 視覚障害 7月16日(土)午後(予定)

(2) クラス分けを受ける者は、100m の S 種目 1 つと 100m の SB 種目 (SB1～3 は 50m) を含めてエントリーしなければならない。

(3) 会場: 横浜国際プール

19 ドーピング検査 (以下、JADA からの注意喚起文による)

- ・ 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ・ 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ・ 大会期間中現在で未成年者(20 歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- ・ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ・ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること

20 表彰

(1) 男女別種目別に 1 位、2 位及び 3 位の選手にメダルを授与する。ただし、申し込み時点の参加選手が 2 名の種目は 1 位のみ、3 名の種目は 2 位までにメダルを授与する。オープン競技にはメダルは授与しない。

(2) 参加者全員(オープン種目を含む)に記録証を発行する。

21 競技日程(予定)

平成 28 年 7 月 16 日(土) クラス分け(11 時～、2 レーン使用) 公式練習(13 時～18 時、8 レーン使用)
 平成 28 年 7 月 17 日(日) 開会式 9 時 競技開始 9 時 30 分 (午前中予選、午後決勝)
 平成 28 年 7 月 18 日(月) 競技開始 9 時(午前中予選、午後決勝) 各日 17 時終了予定

競技順序

7 月 17 日(日)				7 月 18 日(月)			
午前の部(予選)				午前の部(予選)			
1	女子	400m	自由形	27	女子	200m	自由形
2	男子	400m	自由形	28	男子	200m	自由形
3	女子	150m	個人メドレー	29	女子	100m	背泳ぎ
4	男子	150m	個人メドレー	30	男子	100m	背泳ぎ
5	女子	200m	個人メドレー	31	女子	50m	背泳ぎ (聴覚 OP 含む)
6	男子	200m	個人メドレー	32	男子	50m	背泳ぎ (聴覚 OP 含む)
7	女子	100m	平泳ぎ	33	女子	50m	バタフライ (聴覚 OP 含む)
8	男子	100m	平泳ぎ	34	男子	50m	バタフライ (聴覚 OP 含む)
9	女子	50m	平泳ぎ (聴覚 OP 含む)	35	女子	100m	バタフライ
10	男子	50m	平泳ぎ (聴覚 OP 含む)	36	男子	100m	バタフライ
11	女子	50m	自由形 (OP 含む)	37	女子	100m	自由形
12	男子	50m	自由形 (OP 含む)	38	男子	100m	自由形
午後の部(決勝)				午後の部(決勝)			
13	女子	400m	自由形	39	女子	200m	自由形
14	男子	400m	自由形	40	男子	200m	自由形
15	女子	150m	個人メドレー	41	女子	100m	背泳ぎ
16	男子	150m	個人メドレー	42	男子	100m	背泳ぎ
17	女子	200m	個人メドレー	43	女子	50m	背泳ぎ
18	男子	200m	個人メドレー	44	男子	50m	背泳ぎ
19	女子	100m	平泳ぎ	45	女子	50m	バタフライ
20	男子	100m	平泳ぎ	46	男子	50m	バタフライ
21	女子	50m	平泳ぎ	47	女子	100m	バタフライ
22	男子	50m	平泳ぎ	48	男子	100m	バタフライ
23	女子	50m	自由形	49	女子	100m	自由形
24	男子	50m	自由形	50	男子	100m	自由形

21 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び水泳競技に必要な連絡等に利用する。

22 傷害保険への加入について

主催者において期間中(平成 28 年 7 月 16 日～18 日)の傷害保険に一括加入する(保険内容: 死亡・後遺障害 1、000 万円、入院 5、000 円、通院 3、000 円)。これ以上の補償を望む場合には、各自で別途保険に加入すること。大会では、応急処置しかできないので、参加に当たっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

23 競技に関する情報

- (1) 本大会は IPC Swimming 公認大会として実施する。
- (2) IPC Swimmingライセンス登録及び国際クラス分けが終了している選手の記録はIPC公認記録となる。
- (3) 本大会の水着に関する規程は、原則としてすべてFINA及びIPCの競技規則による。
- (4) プール内の室温は30度位、水温28度位、プールの水深は2mとする。
- (5) 競技会場の練習は次の通りとする。

7月16日(土)	メインプール	13時から18時
7月17日(日)・18日(月)	メインプール	8時から競技開始時刻15分前まで・昼食時間
	サブプール	8時から17時

※サブプールは、開会式を除き常時利用できる。

- (6) 受付時間は次のとおりとする。

7月16日(土)	12:30～17:00	1階受付
7月17日(日)	8:00～10:00	1階受付
7月18日(月)	8:00～10:00	1階受付

※17日と18日の会場開館は、選手・関係者のみ8:00、一般・観客等は8:30となる。

- (7) 本大会の予選について、選手の名前やレーンはあらかじめプログラムに記載されている。決勝については予選終了後に選手の名前やレーンなどを、1階総合受付とプール入り口に掲示する。(予定)
競技は原則として、女子・男子の順にクラス番号順に行う。
- (8) 招集は、競技予定時刻の20分前に行う。棄権の場合は、招集時間の1時間前までに、決勝を棄権する場合は予選終了後1時間以内に、それぞれ招集員に届けること。また、他の種目出場等の理由により、時間に間に合わない場合も必ず届出を提出すること。
- (9) 手話通訳者は、招集と表彰場所に配置する。
- (10) 本大会の記録、氏名、付与されたクラス、特記事項などは協会及び連盟ホームページなどに掲載する。

24 その他

- (1) 本大会の成績は今後の国際大会日本代表選手の参考資料とする。
- (2) 大会当日の昼食は各自で用意すること。
- (3) 会場の駐車場は台数に限りがあります。(約270台)
利用時間: 平日(祝日除く) 9:30-22:30 土・日・祝 7:30-21:30
料金: 普通車 2時間以内 300円(1時間超過ごとに150円加算)
- (4) 宿泊については、主催者(日本障がい者スポーツ協会)より斡旋する。希望者は別紙「宿泊案内」を参照のうえ、「宿泊申込書」に必要事項を記載し、期日までに申し込むこと。
- (5) 問い合わせは下記とするが全てFAXによること。FAXの宛名は「2016JP水泳大会」とすること。

①競技関係 (各自登録している団体へ問い合わせること)

(一社)日本身体障がい者水泳連盟 078-855-6621(担当:猪飼)

(一社)日本身体障がい者水泳連盟からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること

(一社)日本知的障害者水泳連盟 03-3615-5584(担当:及川)

※(一社)日本知的障害者水泳連盟からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること

(一社)日本ろう者水泳協会 075-632-9838(担当:豊田)

※(一社)日本ろう者水泳協会からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること

②宿泊関係 JTBコーポレートセールス法人営業 03-5909-8100(担当:大塚)

③その他 日本障がい者スポーツ協会 03-5641-1213(担当:竹下)

本大会の申し込み要項は、日本障がい者スポーツ協会ホームページからダウンロードすることができます。<http://www.jsad.or.jp/news/category/cat032016.html>